

2018年1月中旬更新

英米文学史 講義（2単位） 学部1・2年生 選択科目 後期

教科書はHP「佐々木隆研究室」より配信するので、大学より貸与されている i-pad に取り込んで下さい。パスワードがありますので、授業中に発表します。

英語の教職課程履修者は「英米文学史」及び「英書講読」のうちどちらかを履修する選択必修科目になっています。

重要事項1 評価基準&評価方法

平常の学習態度や授業中の活動等30%、定期試験70%のうち、合計60%以上で成績評価を行います。

定期試験は持ち込み不可ですが、予めテーマ等を発表します。以下は成績評価に早見表（目安）です。他に授業中の活動がありますので、あくまでも目安です。試験範囲は一番最後にあります。

課題1	課題2	課題3	定期試験	総合評価
S	S	S	90点以上	S
S	S	A	90点以上	S 3つの課題のうち2回S、1回A
S	S	B	90点以上	A
S	S	A	80点台	A Sは全体がバランスよく秀でていること
C	C	C	60点台	C
—	—	A	60点台	F
—	B	B	60点台	F又はC
—	C	C	60点台	F 課題の提出がないため
—	—	—	100点	C
—	—	—	95点	F 課題の提出がないため
—	—	F	100点	C
F	F	C	60点台	F又はC 追加課題の可能性あり
F	C	C	60点台	F又はC 追加課題の可能性あり
F	B	C	60点台	C
S	S	S	未受験	F 試験が70%の比率を占めるため

レポートは未提出の場合には評価―（なし）で推移します。ただし、提出した評価がFの場合には評価―とは異なります。また3回あるため、その中で特に改善されている傾向があるかどうかは大きな評価の対象となります。

レポートは平均してB以上を取るようにし、試験では50点以上とることが一つの目安になります。少なくとも3回のレポートがすべてCとにならないように、悪くてもCCBのような組み合わせとすることが重要です。

特に4年生に注意してもらいたいことは、就職活動等で公欠がかなり多い場合には注意すること。この講義では授業内の活動30%とあるので、公欠は出席扱いとなるが授業内の活動をしていないことになるので、評価上、極端に公欠が多くなった場合には単位取得は困難となる。特に4年生の場合には実授業出席数が極端に少ない者は単位取得は厳しい状態となるので、就職部と相談しながら就職活動を行うこと。

課題1 ケルト文化あるいはドルイド教についてリサーチし、最もポイントになると思われる部分を下線部で示しなさい。出典（書籍、インターネットサイト）は必ず明記すること。書籍は著者名、書名、出版社、発行年月。インターネットサイトは URL とアクセス日を必ず明記すること。A4サイズの1枚～2枚程度でよい。表紙（教務部指定のもの）を付け、上部二か所をホチキスで留めること。授業時あるいは直接担当者に提出のこと。2017年10月25日まで。

課題2 『オズの魔法使い』についてリサーチし、最もポイントになると思われる部分を下線部で示しなさい。出典（書籍、インターネットサイト）は必ず明記すること。書籍は著者名、書名、出版社、発行年月。映画の場合には監督名、作品名、製作年。インターネットサイトは URL とアクセス日をそれぞれ必ず明記すること。A4サイズの1枚～2枚程度でよい。表紙（教務部指定のもの）を付け、上部二か所をホチキスで留めること。授業時あるいは直接担当者に提出のこと。2017年11月14日まで。

課題3 ハリー・ポッター・シリーズについてリサーチし、最もポイントになると思われる部分を下線部で示しなさい。出典（書籍、インターネットサイト）は必ず明記すること。書籍は著者名、書名、出版社、発行年月。映画の場合には監督名、作品名、製作年。インターネットサイトは URL とアクセス日をそれぞれ必ず明記すること。A4サイズの1枚～2枚程度でよい。表紙（教務部指定のもの）を付け、上部二か所をホチキスで留めること。授業時あるいは直接担当者に提出のこと。2018年1月16日まで。

定期試験の範囲

- 1 英文学の特徴について簡単にまとめなさい。10点分
- 2 米文学の特徴について簡単にまとめなさい。10点分
- 3 米文学の作品より1つ選び、それについて説明しなさい。30点分
- 4 シェイクスピアについて、1つの作品を選び、それについて自分の考えを述べなさい。50点分

以上です。**持ち込み不可**のため、あらかじめよく準備しておいてください。問題は予め公表しますので、事前によく用意しておくこと。3は米文学の作品と限定しますので、英文学や他の文学作品を取り上げた場合には内容にかかわらず0点となりますので、注意してください。文学作品と映画化されたされたもので混乱する人がいますので、あくまでも原作者がアメリカ人で米語（英語）で書いた作品ということになります。